

第3回 千葉県サッカー医科学研究会

日時 : 平成25年2月23日(土) 15:00~

場所 : みやざき倶楽部
千葉市中央区宮崎1-15 Tel 043-268-6800

共催 : 千葉県サッカー医科学研究会
公益社団法人 千葉県サッカー協会
第一三共株式会社

会費 : 1000円(学生は無料)

当日はご参加いただいた確認のため、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。
ご記帳いただいたご施設名・ご芳名は、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報の提供のために利用させていただきます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



<電車でお越しの場合>

J R内房線蘇我駅 徒歩 15 分 京成千原線千葉寺駅 徒歩 7 分

<お車でお越しの場合>

会場横に駐車場がございますのでご利用下さい。

(台数に限りがございます。)

謹啓

時下、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記内容にて「第3回千葉県サッカー医科学研究会」を開催する運びとなりましたので、謹んでご案内いたします。

今回も特別講演をお二人の先生にお願いしております。昨年のロンドンオリンピックの男子サッカーのトレーナーとして帯同された後関慎司先生には、「ロンドンオリンピック帯同報告（アスレティックトレーナーの役割）」、東京慈恵会医科大学脳神経外科の荒川秀樹先生には、昨年Jリーグで脳震盪についての指針が示されましたが、「サッカーにおける頭部外傷」について有益なお話を伺えることと存じます。

サッカーに関心を持たれる医師、医療従事者、トレーナー、指導者、学生の方々の多くのご参加をお願い申し上げます。

謹白

15:00～

情報提供『ロキソニンブランドについて』

第一三共株式会社

15:05～ 【開会の辞】 千葉メディカルセンター 副院長 森川嗣夫

15:10～ 【一般演題】（講演7分 質疑2分）

司会：千葉メディカルセンター 整形外科 土屋敢

演題1 『運動器メディカルチェックにおける中学生サッカー選手の傷害傾向－他運動部との比較－』

医療法人鉄蕉会 亀田メディカルセンター スポーツ医学科
山田慎、大内洋、服部惣一、市川顕、信賀幸太郎

演題2 『足関節捻挫の既往が足部機能に与える影響～高校サッカー選手を対象として～』

北千葉整形外科 脊椎スポーツ医科学研究所
鈴木一世、橋本佳宏、毛利成孝、保田祐司、橋川拓史、
篠原裕治、寺門淳

演題3 『MRIと超音波診断を用いた、アキレス腱変性、修復過程の定量的評価の試み』

千葉大学大学院医学研究院整形外科
山口智志、府川泰輔、山本陽平、赤木龍一郎、村松佑太、
佐粧孝久、高橋和久
船橋整形外科 高橋謙二

演題4 『育成年代の半月板手術症例の検討』
千葉メディカルセンター 整形外科
土屋 敢、岩崎潤一、森川嗣夫

15:45～ 【メーカーセッション】

演題5 『スポーツ現場における NSAIDs の使用と危険性』
千葉大学大学院医学研究院整形外科学 村松 佑太 先生

15:55～ 【休憩】

16:05～ 【特別講演1】(講演45分 質疑5分)

司会：鍋島整形外科 矢後和夫

『ロンドンオリンピック帯同報告（アスレティック
トレーナーの役割）』

東京スポーツ・レクリエーション専門学校 後関慎司 先生

16:55～ 【休憩】

17:00～ 【特別講演2】(講演50分 質疑10分)

司会：千葉メディカルセンター 副院長 森川嗣夫

『サッカーにおける頭部外傷』

東京慈恵会医科大学脳神経外科 荒川秀樹 先生

18:00～ 【閉会の辞】 千葉メディカルセンター 整形外科 土屋敢

尚、会終了後、情報交換会を予定しております。